

地域と交流し学生を育てる

2017山梨ビューティーフェスティバルを開催

● 山梨県美容生活衛生同業組合

TOPICS

山梨県美容生活衛生同業組合(深澤仁理事長)は、2017山梨ビューティーフェスティバル(美容まつり)を開催。このイベントは今年で第25回を数え、昨年からは甲府と富士東部の2会場で開催し、県内の広い地域から来場者が訪れるイベントとなっている。

甲府会場は10月9日(月祝)に緑が丘の山梨県美容専門学校で開催、甲府市長など多数の来賓も出席し、組合員



学生によるシャンプー体験ヘアセット

や組合関係者の他、各サロンのお客様や地域の人達など1,000名以上が訪れた。

美容まつりは、美容組合

が主催し、美容学校で学んでいる学生が日頃の感謝の気持ちを伝えるために学んでいる美容技術を披露するイベントとして開催している。美容業界はカット等の技術も重要だが、お客様に触れながら接客しなければならないため、コミュニケーション能力を育成することも重要である。

将来の美容業界を担う学生を育てていくためには、地域の方々と学校が一体となり学生の成長や育成を行っていくことが重要であり、当日は学生によるネイルアート・シャンプーなどの無料体験、チャリティーバザーやお楽しみ抽選会を実施し、交流を深めた。

また、組合加盟店は富士東部地域にも100店舗以上もあり美容学校にも多くの学生が通学していることから、昨年からは富士東部会場でもイベント開催を行っている。今年は11月20日(月)にハイランド



開会式の様子(あいさつを行う深澤理事長)

リゾートホテル&スパで開催し、様々なイベントを企画しており、多くの方の来場を期待している。

深澤理事長は、「美容まつりは、日頃からお世話になっている関係者だけでなく、地域の方々に学生の学ぶ姿を知ってもらうために開催している。多くの来場者に、感謝の気持ちを伝える“おもてなし”が出来たと思う。」と成果を語った。